

# 第7回「東海財界倶楽部」例会 「全国及び東海地方の経済状況」

第七回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日は財務省東海財務局長谷川浩一局長が、「全国及び東海地方の経済状況について」の演題で講演。親睦会などが行われた。

平成二十七年二月三日、名古屋東急ホテル四階「栄の間」(名古屋市中区栄四一六一八 ☎〇五二―二五一―二四二一)で、第七回「東海財界倶楽部」例会が開催された。

「東海財界倶楽部」は、愛知県・岐阜県・三重県に拠点を有する

トップ経営者を中心とした異業種交流会。経営者同士の知識・情報の交換および意識向上の機会を設けることを目的とする。

二十七年初の例会となる当日は、午後六時から受付を開始。正会員・準会員を含め中部地区で活躍する経営者らが出席。また、中

華人民共和国駐名古屋総領事館、駐名古屋大韓民国総領事館より特別ゲストを迎えた。

六時三十分からの第一部では、財務省東海財務局長の長谷川浩一局長を講師に迎え、演題を「全国及び東海地方の経済状況について」として講演。

長谷川局長は「財務省の講演でよく批判されるのが、細かい数字が多いこと、話が暗いこと、それをできるだけ少なく

して、なるべく楽しげに話すのが課題です」と前置き。

①アベノミクスはよく動いている、②アベノミクス中の財政政策の役立つ点と問題点、③全国に比べ東海地方の状況は良い、の三項目に分け、最新資料とグラフを用いて講演。全体としてアベノミクスを動かしながら財政健全化を行うという「二兎を追って二兎得るのが財務省の使命」と締めくくった。

七時十五分からの第二部では、会場を同じくして、晚餐を交えた賀詞名刺交換会および親睦会を開催。中日本興業代表取締役社長の服部徹氏の音頭で乾杯。新年初の会にあたり、「希望が持てる話がありがとうございました。今年も会員として懇親を深めながら会を盛り上げていきたいと思えます」と語った。

ターンテーブルの着席形式での晚餐を交えた親睦会が和やかに行われ、最後は税理士法人アクシス執行代表社員の岩瀬洋文氏による一本締めが行われた。



長谷川浩一東海財務局長